目標達成計画

事業所名　グループホーム　おあしす　ありた

作成日　　令和　4年　　4月　　15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つもなかったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目　　標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		コロナ発生に伴い運営推進会議ができず、家族、入居者の参加もはかった。	家族・入居者・地域の方の参加を促し、参加して頂ける様な会議を目指す。	コロナが落ちつき、家族の方を呼べる状況になった時には家族・入居者・地域の方の参加を頂ける様にし、施設を知って頂ける機会を増やす。	12ケ月
2_1		権利擁護に関する制度について、必要時には家族に説明を行っているが職員が学ぶ機会が少ない。	人権について成年後継人等の研修の機会を増やし職員の向上につなげ、入居者や家族に説明する機会をつくる。	成年後継人の内部研修を行い、外部研修にも参加を促す。議事録を作成し、他職員も理解できる様にしていくほか、朝礼やユニット会議等にも共有できるようにしていく。	12ケ月
2_2				又、入居時や入居以外にも家族に説明できる機会をつくる。	12ケ月
3		コロナ発生につき職員が集まっての研修ができず、職員全員に周知する事が難しかった。	その他の研修等で職員全員に把握する機会を作くり職員の向上につなげる。	内部研修は少しずつ行っているが職員全員が把握する事が難しく、ユニット会議等で研修内容を報告をする。	12ケ月
4		避難訓練では家族や地域の参加がない。	避難訓練時は消防署・家族・地域の方の参加を作る。	少なくても年1度は消防署に参加の依頼をし、ポスティング等で地域の方の参加、家族の方にも電話や手紙などで参加をお願いする。	12ケ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。